

大学等廃棄物処理施設協議会

大学等廃棄物処理施設協議会主催の第10回廃棄物処理技術分科会が平成6年7月21日（木）と22日（金）に長崎大学医学部記念講堂で開催された。本分科会では3題の特別講演，1題の展望講演，7題の一般講演が行われた。なお，一般講演では岡山大学環境管理センターの田中雅邦技官が“グラファイト炉原子吸光法による処理水中のヒ素・セレン・アンチモンの一括分析方法”という演題で，当センターにおける分析業務に関連して技術検討を行ってきた成果を報告した。

第12回大学等廃棄物処理施設協議会総会・研修会が平成6年11月17日（木）と18日（金）に京都大学の京大会館で開催された。総会では，京都大学真島敏行技官に技術賞が授与された。研修会では，2題の特別講演，国際交流委員会報告，3部会の作業部会報告及び新しい法規制と大学等の対応についてのフリーディスカッションが行われた。なお，研修会終了後京都大学医学部附属病院医療廃棄物焼却炉及び病院排水管理システムと京都大学環境保全センター有機廃液処理施設の見学会が行われた。

上記技術分科会及び総会・研修会の講演を中心に編集された大学等廃棄物処理施設協議会会報第12号の目次を以下に掲載する。内容に興味のある方は環境管理センターまでお問い合わせ下さい。また，本協議会には岡山大学も団体会員として登録していることから，岡山大学教職員は本協議会開催の行事に参加することができます。詳細については環境管理センターまでお問い合わせ下さい。

大学等廃棄物処理施設協議会会報 第12号 目次

<u>御挨拶</u>	大学等廃棄物処理施設協議会会長 篠田 純 男 ……………	1
	文部省文教施設部指導課 白 敷 進 ……………	3
<u>特別寄稿</u>		
長崎市におけるごみ処理事業	(長崎市環境事業部) 浜 崎 省 吾 ……………	5
カドミウム環境汚染と疫学	(長崎大学) 斎 藤 寛 ……………	13
乾溜燃焼技術の廃棄物処理への応用	(有)マツダグリーンサービス) 松 田 勝 己 ……………	20
環境監査の動向について	(日電環境エンジ株) 藤 森 敬 三 ……………	23
大学における環境教育の現状と課題	(愛知大学) 和 田 武 ……………	32
<u>展望報告</u>		
環境教育におけるごみ(廃棄物)分別の二重性	(長崎大) 白須賀 公 平 ……………	41
<u>技術賞受賞寄稿</u>		
有機廃液処理装置の運転に従事して	(京都大) 真 島 敏 行 ……………	51

委員会報告

第2回大学等廃棄物処理アジア地域国際シンポジウム

国際交流委員会 原 口 紘 丞, 篠 田 純 男 …………… 57

作業部会報告

大学における環境教育のための教材等の作成について

環境教育部会 山 田 浩 司, 玉 浦 裕 …………… 62

大学等廃棄物処理施設の作業環境と安全衛生

安全衛生部会 正 藤 英 司, 村 山 忍 三 …………… 67

廃棄物処理施設の更新, 改修等に係わる手法について

処理プロセス部会 立 本 英 機 …………… 70

技術報告

大学における新規制排出基準への対応

(日電環境エ(株)) 渡 邊 廣 幸, 笹 尾 隆 司, 片 山 能 裕

(東工大) 吉 田 崇, 辻 正道, 玉 浦 裕 …………… 71

グラファイト炉原子吸光法による処理水中のヒ素・セレン・アンチモンの一括分析法

(岡山大) 田 中 雅 邦, 篠 田 純 男 …………… 83

埼玉大学廃液処理施設の現状

(埼玉大) 坂 本 和 彦, 奥 墨 勇, 松 田 常 雄 …………… 89

有機系廃液焼却時のトラブルと焼却炉の改修について

(弘前大) 新 谷 浩 敏 …………… 94

北海道大学における有機溶剤の使用実態と廃液排出量の予測

(北海道大) 江 見 清 次 郎, 村 山 正 …………… 100

薬品安全データシートの提供と大学内の薬品在庫管理について

(早稲田大) 小 山 建 夫, 村 上 明 男, 新 井 智 …………… 107

長崎大学におけるコンピューターによる廃液管理とその利用による展望

(長崎大) 田 平 泰 広, 石 橋 康 弘 …………… 113

フリーディスカッション

新しい法規制と大学等の対応

(東京大) 鶴 田 俊 …………… 119

見学記

長崎三彩・マツダクリーンサービス中間処理工場見学記

(長崎大) 石 橋 康 弘 …………… 127

京都大学医療廃棄物焼却炉・病院排水管理システム

(京都大) 高 月 紘 …………… 128

京都大学有機廃液処理施設見学記

(京都大) 真 島 敏 行 …………… 130

岡山・香川環境資源懇話会

岡山・香川環境資源懇話会は、昭和63年6月に産・官・学の情報交換、技術交流の場として発足以来、毎年多彩な事業活動を行っている。岡山大学環境管理センターでも環境関係の情報収集及び技術交流を目的として懇話会事業に積極的に参加している。平成6年度は以下の事業が行われた。なお、岡山・香川環境資源懇話会会報第7号の目次を掲載した。本懇話会は岡山工学振興会で事務処理を行っています。入会希望その他の問い合わせは岡山工学振興会にお願いします。

1. 平成5年度総会・講演会

日時：平成6年6月20日（月） 14:00～19:00

会場：岡山ロイヤルホテル

- 1) 総会
- 2) 講演会

「産業の発展と自然環境の創造」

横浜国立大学名誉教授

(財)国際生態学研究センター 宮 脇 昭

2. 第7回R&Dサロン

日時：平成6年9月13日（火） 13:00～16:30

会場：岡山大学大学院自然科学研究科棟大講義室

「廃棄物処理と環境保全」

京都大学環境保全センター 教授 高 月 紘

3. 第7回見学会・討論会

日時：平成6年11月9日（水） 9:30～17:00

会場：川崎製鉄(株)水島製鉄所

- 1) 見学会

岡山県環境保全事業団水島廃棄物埋立処分場

川崎製鉄(株)水島製鉄所プラスチック破碎工場

- 2) 話題提供

「製鉄所における廃棄物有効利用と今後の課題」

川崎製鉄(株)水島製鉄所 五十嵐 紘 一

妹 尾 義 和

小 村 泰 良

4. 第7回講習会・セミナー

日時：平成7年3月8日（水） 9:00～17:00

会場：メルパルク岡山

題目：臭気問題の背景とその制御技術

(1) 環境資源科学セミナー

1. 悪臭物質の規制の動向

岡山県地域振興部環境保全課課長補佐 安藤 進

2. 最近の悪臭問題の動向と臭気対策

大阪市立環境科学研究所 福山 丈二

(2) 環境技術講習会

1. 充填式生物脱臭技術とその適用事例

(株)クボタ上下水プラント技術部 桶谷 智

2. 高機能活性炭を用いた脱臭

クラレケミカル(株)研究開発室長 田中英治

3. 塩基性硫酸鉄を利用した脱臭剤の開発

同和鉱業(株)環境事業部 佐々木 久志

(3) 総合討論

岡山・香川環境資源懇話会会報 第7号 目次

巻頭言	環境の規制の下での倫理	1
	岡山県高梁地方振興局環境対策室長 井上堅太郎	
I.	廃棄物と環境問題	2
	京都大学環境保全センター 教授 高月 紘	
II.	平成6年度 事業実施結果	12
	1. 平成6年度 総会, 講演会, 懇親会	12
	2. 第7回 R&Dサロン	13
	3. 第7回 見学会・討論会	13
	4. 第7回 講習会・セミナー	14
III.	平成6年度 会務報告	15
IV.	会 則	17
V.	平成6年度 会員名簿	23
	1. 賛助会員	25
	2. 団体会員	27
	3. 個人会員	35
VI.	平成6年度 役員名簿	43